

授業科目 病理学	区分・教育内容		
	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進		
授業担当者 大学からの非常勤講師	開講時期	単位	時間数
	前期	1 単位	30 時間
授業の目的 病気の原因やその経過、それによって人体が形態的・機能的にどのように変化していくかを知り、実際の医療現場で患者さんと接する際に、一つひとつの看護的処置に対して「なぜそうするのか」を考えられるようになる。			
授業の目標 病気の原因やその成り立ちを科学的に理解するための基礎知識を身につける。			
授業概要 病理学とは、病気の“しくみ(成り立ち、経過など)”や“分類・見分け方”について学び、病気の本質を理解するための学問です。 一般的に、病理学は総論と各論に大別されます。この講義では総論を中心に授業を進めます。いろいろな臓器の疾患を「炎症」「循環障害」「腫瘍」などの大まかなカテゴリーに分けて学習し、患者さんの病態全体を把握するための基本的な考え方を身につけましょう。各論の内容も必要に応じて解説していきます。			
授業計画(進め方) 1 回目 病理学と病理診断 2 回目 細胞の傷害と適応 (1) 3 回目 細胞の傷害と適応 (2) 4 回目 炎症 (1) 5 回目 炎症 (2) 6 回目 免疫とその異常 (1) 7 回目 免疫とその異常 (2) 8 回目 先天異常 9 回目 感染症 10 回目 代謝の異常と疾患 11 回目 循環傷害 (1) 12 回目 循環傷害 (2) 13 回目 腫瘍 (1) 14 回目 腫瘍 (2) 15 回目 問題演習と解説・まとめ ※講義の進行状況によっては、内容が前後する、または変更される可能性があります。			
テキスト 新体系 看護学全書 専門基礎 病理学 メヂカルフレンド社			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験			